

ふるさと わがまち わが地域

おもてなしの心の

此代地区(このしろちく更新2)250617



世帯数 33世帯
人口 71人
(平成25年4月末)
前々より人口4人減



★地区概要

此代地区は、前回(平成25年1月)にも触れましたが風光明媚な地域であり、老若男女が現在も頑張っています。特に此代地区入り口にある「レスト新城」は元気印のもとです。食材も**地産地消を第一**に地域に活力を与えています。



7月21日(日)まで丹後ばらずし食べ歩き開催中。
一押しは、ばらずし定食です。右側は地元産のりをふんだんに使ったおにぎりです。



「此代ふれあいの会」からスタートして「花ネット丹後」へと拡大した花いっぱい運動が、今年度4月に「平成25年度緑化推進運動功労者」として内閣総理大臣賞を受けました。

今後も、地道な努力を継続して「食」とともに「目」でも作り手の気持ちを感じとってください。



此代配水池
旧配水池老朽化に伴い、新設する。区民の命のもとです。
右側斜面の上数十m先に**夜泣き封じのお地藏様**が鎮座しています。登り口は、乗原方面に約10m先にあります。



此代公民館
年間をとおして地域の拠点です。6月3日(月)もニホンザル追い払い講習会が開催されました。すぐ横には、防火用水があります。イノシシ用檻にかかったキツネです。(6/9)



此代のため池
カンバ池(標高190m)
鷹巣川砂防ダム山側から目的地まで約1.3km。
例年ですとこの時期は、**モリアオガエル**が大量に生まれて「カエルの大合唱」が行われます。6月6日は「カエルの日」とか? 「ケロ(6)ケロ(6)」
また、冬には**鴨**も飛来することです。(此代区長談より)



モリアオガエルの卵



砂防指定地
鷹巣川の砂防ダム



またまたすいません。船小屋に行く道中にあるお地藏さんたち。景色は抜群です。



鳥居の形をした、ここからゴミ捨て禁止の目印。筆志、乗原、此代地区内にあります。個人が美化啓発のために作ったとのこと。決して神社があるわけではありません。



熊野神社
伊弉册神(いざなみのかみ)を祭る。旧村社。境内には、稲荷神社、八柱神社、天満宮があります。



愛宕神社(祭神 軻遇土神(かぐつちのかみ))
かつては、秋祭りには鳥居のところまで神輿を担いで来ていました。鳥居前の広場では、愛宕神社と依遅ヶ尾山に向かって太刀振りが奉納されます。また、乗原地区の太刀振りも奉納されます。(此代区長談)



地元では「だるまん」と呼ばれている夜泣き封じのお地藏尊です。とても穏やかな表情をしています。アゴ(下)から頭(上)にかけて撫ってください。間違えるとご利益なしのことです。ご利益がありますように。⇒が登り口です。最初は狭いですが途中から広がります。おおよそ30メートルでお地藏さんに到達します。



諸邦神社・佛閣の順拝供養墓「だるまん」手前右側にあります。



文化・伝統



元位置



秋葉神社(火防(ひよけ)・火伏せの神)
明治18年(1885)、当時の此代村にて大火災が発生する。村民の願いを込め二度と起こらぬようにと神社を建立する。平成16年(2004)の10月20日から21日の台風23号で神社倒壊する。現在は元位置より一段下の場所に鎮座しています。こちらも、太刀振りが奉納されます。



樹齢何百年の木々に囲まれた神社です。地元では「谷荒神さん」と呼ばれています。後姿の2人は、区の役員さん方々です。地区の神社の点検に同行させていただきました。